



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2180 URL <https://ssug.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 本部長 (氏名) 大竹 貴也 TEL 03-6894-3233  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

百万円未満切捨て

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	14,007	15.8	1,120	34.6	1,158	△13.5	673	△15.0
2022年6月期第3四半期	12,099	-	832	-	1,339	-	792	-

（注）包括利益 2023年6月期第3四半期 813百万円（4.3%） 2022年6月期第3四半期 779百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	45.13	-
2022年6月期第3四半期	52.59	-

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年6月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	8,040	3,386	40.2
2022年6月期	7,548	2,820	35.7

（参考）自己資本 2023年6月期第3四半期 3,234百万円 2022年6月期 2,695百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2023年6月期	-	0.00	-	-	-
2023年6月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※配当予想の修正については、本日（2023年5月15日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	8.7	1,200	56.3	1,230	△4.2	670	15.3	44.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※業績予想の修正については、本日（2023年5月15日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

除外 1社 （社名）bills waikiki LLC

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	15,191,600株	2022年6月期	15,191,600株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	277,456株	2022年6月期	128,708株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	14,923,020株	2022年6月期3Q	15,062,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意点）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（四半期決算説明会について）

当社は2023年5月20日（土）に個人投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10
(収益認識関係) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年7月1日～2023年3月31日）における当社グループは、企画力とメディアリレーションを強みとする「PRコミュニケーショングループ」として、グループシナジーを創出しながら、幅広いソリューションを提供してまいりました。事業を担う従業員一人ひとりが自分らしく働くための環境を整備すべく、独自の福利厚生「32の制度」を拡充するとともに、国籍等を問わない採用方針を新卒採用にも適用し、多様なクライアントに対応する組織体制を整備しました。また、中長期的な企業価値向上を目指して、経営の効率化と基幹事業の更なる成長を図るため、グループ経営体制の強化に取り組んでおります。

ポストコロナへのシフトが本格化するなか、当社グループでは、社会的ニーズや価値観の変化に伴う需要を継続的に取り込むとともに、インバウンドを含む人流回復を前提に進む商業施設やホテルの開業、観光促進キャンペーン等のPRを順調に受注しました。また、当社グループが連携する海外PRエージェンシー等を経由したグローバル企業からの依頼が急激に増加しており、日本で新たにサービスを展開する企業を対象としたビジネスも広がりつつあります。

業績につきましては、マーケティング&コミュニケーション事業が継続的に収益基盤を支えながら、売上高ではIP（知的財産）を活用した販促企画が伸長したセールスアクティベーション事業がグループを牽引し、国内の復調が顕著なフードブランディング事業も増収に寄与しました。利益につきましては、フードブランディング事業が売上回復に伴い黒字転換を果たし、ビジネスディベロップメント事業でも費用が先行していた事業開発の赤字幅が縮小し、事業全体で利益改善が進みました。

なお、前年同期の営業外収益には組合損益分配額と助成金収入を合わせて435百万円を計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間に組合損益分配額の計上はなく、助成金収入も減少したため、営業外収益が大きく減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	14,007百万円	（前年同期比 15.8%増）
営業利益	1,120百万円	（前年同期比 34.6%増）
経常利益	1,158百万円	（前年同期比 13.5%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	673百万円	（前年同期比 15.0%減）

セグメントの構成および業績は次の通りです。

セグメント区分	構成子会社
①マーケティング&コミュニケーション事業	㈱サニーサイドアップ（コンテンツ関連部門を除く）
	㈱クムナムエンターテインメント
	㈱ステディスタディ
	㈱スクランブル
	㈱エアサイド
②セールスアクティベーション事業	㈱ワイズインテグレーション
	㈱サニーサイドアップ（コンテンツ関連部門）
③フードブランディング事業	㈱フライパン
	SUNNY SIDE UP KOREA, INC
④ビジネスディベロップメント事業	㈱グッドアンドカンパニー
	㈱サニーサイドアップパートナーズ
	㈱アジャイル

①マーケティング&コミュニケーション事業

当事業では、PRを軸に、プロモーション、スポーツマーケティング、ブランディング、コンテンツ開発等、マーケティング及びコミュニケーションに関する多様なソリューションを提供しております。

㈱サニーサイドアップでは、企画力とメディアリレーションを強みとして、特定の業種に限定することなく、多様な商品・サービス、イベント、商業施設等のPRを手掛けるとともに、依頼が増加しているグローバル企業の案件も受注しています。

㈱クムナムエンターテインメントでは、強力なキャスティングネットワークと企画力を強みとして、日本及び韓国の人気アーティスト、有名プロスポーツ選手等を起用したブランディングやコンテンツ開発を手掛けています。㈱ステディスタディでは、ファッション・ライフスタイルブランドに関する専門的な知見やキャスティング力を活用し、PRやイベントの企画・制作・運営、コンサルティングを提供しています。㈱エアサイドでは、高いクリエイティビティーとエンターテインメント業界とのリレーションを武器に、人気アーティストを起用したCMをメディアに紹介するPR等を手掛けています。また、㈱スクランブルでは、インフルエンサーとYouTubeやInstagram等のSNSを組み合わせたマーケティングサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、㈱サニーサイドアップで食品・飲料、コスメ、商業施設を始めとするリテナー契約による売上が伸長したほか、㈱ステディスタディにおいてもハイエンドブランドのPRやイベント受託が好調に推移しました。一方、㈱クムナムエンターテインメントが手掛ける大型のキャスティング案件が事業年度終盤に偏り、セグメント業績に影響を与えました。また、当事業では、更なる成長に向けて人的資本等への先行投資を行い、㈱サニーサイドアップで費用が増加しました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	5,645百万円	(前年同期比 1.8%減)
セグメント利益	1,468百万円	(前年同期比 6.5%減)

②セールスアクティベーション事業

当事業では、店頭等での消費者とのコンタクトポイントにおける購買・成約の意思決定を促すためのノウハウ・ソリューションを提供しております。

㈱ワイズインテグレーションでは、商品キャンペーンの企画からグッズ制作、雑貨の商品企画及びOEM、大手食品・飲料メーカーのコミュニケーション戦略立案、国際支援団体のマーケティングサポート等を展開するとともに、受注型ビジネスからの脱却を図るため、自社商品・サービスを拡充しています。㈱サニーサイドアップのコンテンツ関連部門では、タレントやキャラクター等のIPを活用したコンテンツ制作及び販促施策を手掛けています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、㈱サニーサイドアップのコンテンツ関連部門でIPを活用した大手コンビニエンスストア向け販促企画の受注が大きく増加し、グループ売上高を牽引しました。一方、㈱ワイズインテグレーションでは、前期に獲得した大型キャンペーンの反動減や第1四半期連結会計期間を中心とする急激な為替変動による原価率の上昇が影響しました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	5,836百万円	(前年同期比 39.0%増)
セグメント利益	308百万円	(前年同期比 1.4%減)

③フードブランディング事業

当事業では、オーストラリア・シドニー発のオールデイダイニング「bills」の国内におけるブランディング、ライセンスビジネス及び韓国におけるライセンス管理と店舗運営を行っております。

直営7店舗を展開する国内では、当第3四半期連結累計期間に出退店はないものの、2022年12月に「bills 横浜赤レンガ倉庫」(神奈川県横浜市中区)が入居する商業施設の大規模改装に伴いリニューアルオープンし、順調に推移しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、国内の回復がより鮮明となり、銀座店や大阪店に続いて表参道店も売上が大幅に増加し、その他の店舗も順調に推移しました。また、2店舗を展開する韓国の売上高も、引き続き順調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、米国ハワイ州からの事業撤退完了に伴う前年同期の損失解消に加え、国内の収益改善が進み、事業全体で黒字に転換しました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	2,104百万円	(前年同期比 24.1%増)
セグメント利益	50百万円	(前年同期実績 △252百万円)

④ビジネスディベロップメント事業

当事業は、新規事業の開発・創出を通じてグループの事業領域を拡充する位置づけにあり、セグメント特性上、費用が先行する傾向にあります。

㈱グッドアンドカンパニーでは主に、ウェルビーイングや女性活躍推進等、社会課題の解決に資するコミュニケーションサービスを提供しています。当第3四半期連結累計期間においては、女性のヘルスケアやキャリアとの両立など、ライフデザインを啓発するプロジェクトを中心に手掛け、3月8日の「国際女性デー」に合わせてオンラインイベントを実施しました。㈱サニーサイドアップパートナーズでは、事業シーズ、パートナーの発掘及び事業スキーム策定、ならびに事業化後における管理・運用業務を行っております。また、㈱アジャイルでは、グループが有する資産やIPを組み合わせて、新業態・新商品の開発支援及びコンサルティングサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、事業開発に係る費用が先行していた㈱アジャイルの赤字幅が縮小し、事業全体で黒字転換しました。

これらの結果、当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	421百万円	(前年同期比	7.3%減)
セグメント利益	46百万円	(前年同期実績	△84百万円)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、8,040百万円（前連結会計年度末より491百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が6,275百万円（同431百万円増）、固定資産が1,765百万円（同60百万円増）となりました。また、負債合計は、4,654百万円（同74百万円減）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が3,837百万円（同169百万円増）、固定負債が816百万円（同244百万円減）であります。純資産合計は、3,386百万円（同566百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

これまで2023年6月期通期連結業績予想は、2022年8月15日に公表しました予想値を修正せず据え置いておりましたが、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日（2023年5月15日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,230,172	2,606,924
受取手形	24,352	17,612
売掛金	1,958,834	1,901,424
商品及び製品	1,763	4,673
未成業務支出金	295,187	723,436
原材料及び貯蔵品	24,346	24,119
その他	319,412	1,006,450
貸倒引当金	△10,876	△9,546
流動資産合計	5,843,193	6,275,094
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	374,714	393,975
有形固定資産合計	374,714	393,975
無形固定資産		
のれん	317,539	286,475
その他	10,566	19,379
無形固定資産合計	328,106	305,854
投資その他の資産		
その他	1,065,512	1,101,310
貸倒引当金	△62,533	△35,318
投資その他の資産合計	1,002,979	1,065,991
固定資産合計	1,705,799	1,765,822
資産合計	7,548,992	8,040,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,062,193	1,428,539
短期借入金	538,000	686,000
1年内返済予定の長期借入金	521,187	257,351
未払法人税等	398,362	144,796
賞与引当金	-	169,608
役員賞与引当金	129,071	-
契約負債	180,720	792,961
その他	838,855	358,459
流動負債合計	3,668,390	3,837,717
固定負債		
長期借入金	661,140	447,980
資産除去債務	125,659	126,422
その他	273,650	242,012
固定負債合計	1,060,451	816,414
負債合計	4,728,841	4,654,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,764	547,764
資本剰余金	696,127	696,127
利益剰余金	1,543,800	2,036,531
自己株式	△30,448	△130,456
株主資本合計	2,757,244	3,149,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	96,002
繰延ヘッジ損益	-	719
為替換算調整勘定	△63,233	△12,492
その他の包括利益累計額合計	△62,041	84,229
新株予約権	100,016	134,266
非支配株主持分	24,931	18,321
純資産合計	2,820,150	3,386,784
負債純資産合計	7,548,992	8,040,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,099,735	14,007,300
売上原価	9,439,527	10,972,099
売上総利益	2,660,208	3,035,201
販売費及び一般管理費	1,827,492	1,914,781
営業利益	832,715	1,120,420
営業外収益		
受取利息	118	117
受取配当金	5,775	1,549
組合損益分配額	151,693	-
助成金収入	284,192	59,706
その他	74,378	24,047
営業外収益合計	516,157	85,421
営業外費用		
支払利息	8,130	6,673
持分法による投資損失	85	5,886
為替差損	-	21,011
その他	992	13,316
営業外費用合計	9,208	46,889
経常利益	1,339,665	1,158,952
特別利益		
固定資産売却益	-	1,636
特別利益合計	-	1,636
特別損失		
固定資産除却損	138	0
固定資産売却損	-	369
子会社出資金売却損	-	29,342
関係会社株式売却損	-	8,647
出資金評価損	-	34,519
特別損失合計	138	72,878
税金等調整前四半期純利益	1,339,527	1,087,710
法人税等	508,580	420,835
四半期純利益	830,947	666,875
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	38,668	△6,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	792,278	673,485

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	830,947	666,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,044	94,810
繰延ヘッジ損益	-	719
為替換算調整勘定	△49,025	50,740
その他の包括利益合計	△51,069	146,271
四半期包括利益	779,877	813,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	741,208	819,756
非支配株主に係る四半期包括利益	38,668	△6,609

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式148,700株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が100,007千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が130,456千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、全出資持分を譲渡したことに伴いbills waikiki LLCを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング &コミュニケーション事 業	セールスアク ティベーション事 業	フードブラ ンディング 事業	ビジネスディ ベロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,750,405	4,200,220	1,694,763	454,347	12,099,735	-	12,099,735
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	84,022	8,042	1,931	44,413	138,409	△138,409	-
計	5,834,427	4,208,262	1,696,694	498,760	12,238,145	△138,409	12,099,735
セグメント利益 又は損失(△)	1,570,151	312,704	△252,669	△84,954	1,545,231	△712,515	832,715

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△359,482
全社費用(※)	△353,033
合計	△712,515

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年7月1日 至2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング &コミュニケーション事 業	セールスアク ティベーション事 業	フードブラ ンディング 事業	ビジネスデイ バロップメン ト事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,645,319	5,836,624	2,104,044	421,312	14,007,300	-	14,007,300
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	72,919	4,010	2,333	18,690	97,952	△97,952	-
計	5,718,238	5,840,634	2,106,378	440,002	14,105,253	△97,952	14,007,300
セグメント利益	1,468,402	308,302	50,660	46,458	1,873,823	△753,403	1,120,420

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	△28,864
全社費用(※)	△724,538
合計	△753,403

(※) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアクテ イベーション事 業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	5,595,768	4,196,583	1,349,870	449,847	11,592,069
アジア	60,099	3,636	287,403	4,500	355,639
米国	54,429	—	57,488	—	111,918
欧州	40,107	—	—	—	40,107
顧客との契約から生じ る収益	5,750,405	4,200,220	1,694,763	454,347	12,099,735
外部顧客への売上高	5,750,405	4,200,220	1,694,763	454,347	12,099,735

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	マーケティング &コミュニケーション事業	セールスアクテ イベーション事 業	フードブランデ ィング事業	ビジネスディベ ロップメント事 業	
日本	5,186,133	5,835,064	1,686,188	409,612	13,116,998
アジア	213,897	1,560	417,855	11,700	645,013
米国	174,186	—	—	—	174,186
欧州	71,102	—	—	—	71,102
顧客との契約から生じ る収益	5,645,319	5,836,624	2,104,044	421,312	14,007,300
外部顧客への売上高	5,645,319	5,836,624	2,104,044	421,312	14,007,300